

令和5年度 放射線の健康影響に係る研究調査事業一覧

テーマ1: 線量推計に資する研究

テーマ2: 身体面・心理面の健康に関する研究

テーマ3: 事故による放射線不安への対策に資する研究

番号	年数	テーマ	研究者名	所属先	研究課題名
1	1	1・2・3	高村 昇	長崎大学	双葉町、大熊町における処理水、除去土壌、廃炉に関するリスク認知評価と、リスクコミュニケーションおよびそれに資する環境放射能評価の推進
2	1	2	佐治 重衡	福島県立医科大学	放射線による健康影響不安を考慮したAYA世代がん患者に対する包括的なピアサポート体制の構築
3	1	3	アミール 偉	福島県立医科大学	環境省「ぐるるプロジェクト」におけるプロジェクトレビューに関する研究
4	1	3	青柳 みどり	国立環境研究所	放射線健康不安にかかるマスメディア報道とその世論への影響に関する調査研究
5	1	1	金 ウンジュ	量子科学技術研究開発機構	原子力災害時における被災者の個人被ばく線量把握及び健康管理に資するインテリジェンスデータベースの構築
6	1	3	佐藤 美佳	福島県立医科大学	防災士による放射線防災/地域啓発活動モデルの構築と検証
7	1	2	坪倉 正治	福島県立医科大学	福島原発事故後の二次的健康影響に関するまとめとその意識調査に基づいた情報発信に関する研究
8	1	3	成富 史	医療法人ロコメディカル	放射線による健康影響を含む災害等の緊急時におけるインクルーシブなコミュニケーション手法の開発に関する調査研究
9	1	3	土田 昭司	関西大学	効果的なリスクコミュニケーションの実践に向けた評価手法の開発・検証及び社会実装に向けた提案
10	1	2	大平 哲也	福島県立医科大学	原子力発電所事故後の避難住民・帰還住民における健康寿命に関わる震災関連及び身体心理社会的要因についての統合データベースの作成と要因検討
11	1	2	鈴木 正敏	東北大学	不溶性セシウム粒子の生物影響に関する理解深化を目指す分野横断共同研究
12	2	1	佐藤 雄飛	環境科学技術研究所	陸・水圏植物における有機結合型トリチウム(OBT)生産速度の網羅的把握
13	2	1	吉田 浩子	東北大学	大熊町など福島第一原発に近い地域の住家における掃除による屋内放射性物質の低減効果
14	2	1	高原 省五	日本原子力研究開発機構	原子力事故後の居住環境における室内外の物質移行を考慮した住民の被ばく線量評価に関する研究
15	2	2	笹谷 めぐみ	広島大学	放射線発がんとそれに起因するゲノム変異(放射線の爪あと)を高感度に検出できるマウスを用いた、低線量・低線量率放射線発がんリスク評価研究とそのメカニズム解明
16	2	2	今岡 達彦	量子科学技術研究開発機構	低線量率放射線発がんリスクの予測モデル構築及び遺伝的素因に関する基礎的研究
17	2	2	中島 裕夫	大阪大学	セシウム137による慢性的低線量内部被ばくマウスの体細胞・生殖細胞におけるDNA塩基配列への影響ー全ゲノム解析による継世代影響の統計解析ー
18	2	2	飯塚 大輔	量子科学技術研究開発機構	低線量被ばくによる発がん高感受性臓器のがんに至る細胞動態解明
19	2	3	宇野 賀津子	ルイ・パストゥール医学研究センター	3.11以降Twitter上で交わされた放射線関連情報の解析を基に、住民の深層不安払拭のための科学的情報発信サイトの立ち上げとその評価

20	2	3	前田 正治	福島県立医科大学	原発事故被災地への移住・定住者に対するウェルビーイング形成の支援フレームワークに関する研究
21	2	3	五月女 康作	福島県立医科大学	福島県外のライフイベントを迎える世代に向けた放射線リスクコミュニケーションモデルの構築と実践
22	2	3	江口 有一郎	ロコメディカル総合研究所	ソーシャルマーケティング手法および行動科学・行動経済学的手法を用いた放射線の健康影響や自然災害等に対する最適な意思決定の促進および不安・誤解・偏見・差別解消のための方策の解明
23	2	3	竹西 亜古	兵庫教育大学大学院	放射線イングループ・リスクコミュニケーターの育成に向けた双方向リスクコミュニケーションゲームの開発と検証
24	2	3	新井 知大	駒澤大学	診療放射線技師を対象とした放射線災害時におけるリスクコミュニケーションについての研修の体系化及び放射線災害時における診療放射線技師を活用した支援体制の構築に関する調査研究
25	2	1・2	数藤 由美子	量子科学技術研究開発機構	FISH解析法による低線量被ばく評価に向けた基盤構築
26	2	2・3	小島 祥敬	福島県立医科大学	福島県内における東日本大震災前後の停留精巣患者数の実態調査
27	3	1	細田 正洋	弘前大学	浜通り地域を対象とした帰還住民の天然および人工放射性核種からの被ばく線量調査
28	3	2	権藤 洋一	東海大学	低線量長期被ばくマウスおよび細胞の超高感度変異検出に基づく放射線影響と変異誘発機構の解析
29	3	2	臺野 和広	量子科学技術研究開発機構	被ばくの分子指標を用いた低線量・低線量率放射線によるがんリスクの直接評価
30	3	2	吉岡 研一	国立がん研究センター研究所	放射線による“ゲノム不安定性・がん”のリスク上昇メカニズムと、リスク診断法・制御法の研究
31	3	2	祖父江 友孝	大阪大学大学院	福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究
32	3	2	鈴木 啓司	長崎大学	ゲノム変異シグネチャー解析で紐解く低線量放射線の発がん寄与割合とメカニズム
33	3	3	田中 健次	電気通信大学	セカンドプレイスでの放射線リスクコミュニケーションの実現
34	3	3	平井 啓	大阪大学大学院	放射線に対する恐怖・不安により生じる 行動のメカニズムと心理学・行動経済学的制御に関する研究
35	3	1・2	盛武 敬	量子科学技術研究開発機構	複数の生物学的指標を組み合わせた長期放射線影響の予測と社会実装に向けた取り組み